認定NPO法人 環境市民の月刊会報誌
2019年4月 311号

みどりのニュースレター

ローカルは強し！

今月の一枚



ピナンのヤシの木が印象的な、インドネシアのボルネオ島、西カリマンタンのとある水田。50 年間お米作りを続けるアリーおじいさんに聞きました。手前は 5 年前から作り始めた 1 年に 3 回収穫可能な稲。右奥はこの土地に昔からある 1 年に 2 回収穫する稲。奥の方が背が高いのにお気付きでしょうか。

2018 年末、企業が開発したことも原因と考えられる洪水が 2 週間続き、手前の稲は全滅。全部植え直さなければならず大変だったそうです。対して在来の稲は耐水性があり、その後もすくすく成長しています。

どんなに効率が良くても、新しい品種に全部換えてしまわず、昔ながらの種もちゃんと守っていたアリーおじいさん。レジリエンス（しなやかさ）のヒントはここにあるかも……？

写真 / ゆっこ（環境市民）

今月の内容

p.2-3　報告：第 3 回エシカル通信簿発表会
p.4-5　いま、生物多様性条約で何が話し合われているのか？
p.6　【理事リレーコラム】第 4 回　理事　片山　雅男
“なりわい”としての里山林の活用
p.7　【ぐりちょばなし】シェアサイクル／行事案内・JOIN US!
p.8　環境市民出版物のご案内／今月のありがとう／編集後記

報告：第３回エシカル通信簿発表会

消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク/ボランティア　有川 真理子

今年も企業を市民目線で、エシカルな視点から評価する「エシカル通信簿」の結果発表会が聖心女子大学（東京都内）にて 3 月 19 日に開催され、企業や NGO 関係者、学生など 48 人の参加がありました。

今回は、家電と外食業界を対象に各 5 社ずつ、合計 10 社の調査を行いました。調査は、環境市民が事務局を担う消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワークが行い、今年は 3 回目の調査となりました。

●「情報」はエシカル消費実現の決め手

エシカル通信簿の目的は、消費者が、買い物や投資、就職などの際に、エシカルな取り組みを頑張っている企業を選びたい、と思ったときに役立つ情報を提供すること。それによって、消費者の選択を変え、持続可能な社会をつくっていくことにあります。ネットワークの共同代表理事であり、環境市民の代表理事でもある枚本育生は、発表会の冒頭で「持続可能な消費は SDGs の目標の一つにもなっているが、目標達成のためには消費者が選択をするための『情報』が欠かせない」とその意義を述べました。

●調査対象は家電と外食

調査対象となった 10 社と調査結果は表 1 の通り。調査項目は「持続可能な開発（表中 SD と省略）」「環境」「消費者」「人権・労働」「社会（社会貢献）」「平和・非暴力」「動物（動物の福祉）」の七項目、A4 サイズで 70 ページにもおよびます。

表 1

エシカル通信簿　家電メーカー

	SD	環境	消費者	人権 労働	社会 社会貢献	平和 非暴力	動物
シャープ	5	5	5	7	6	2	1
ソニー	5	6	5	8	6	2	1
パナソニック	5	5	6	9	7	3	1
日立アプライアンス	6	5	5	8	5	3	1
三菱電機	6	6	5	7	7	2	1

SD=持続可能な開発・社会　　動物=アニマルウェルフェア

エシカル通信簿 外食チェーン

	SD	環境	消費者	人権 労働	社会 社会貢献	平和 非暴力	動物
コロワイドグループ	1	1	1	1	1	1	1
すかいらーくグループ	1	1	3	2	2	1	1
ゼンショーHD.	2	1	2	1	3	1	1
日本マクドナルド	4	3	6	4	5	1	3
吉野家 HD	1	1	2	1	3	1	1

項目ごとにそれぞれを専門とするメンバーが協議しながら調査票の作成、調査を行いました。調査はまず、各社のウェブサイトや公刊された図書（『CSR 企業総覧』東洋経済新報社など）をもとに調査し、その後、結果を各社に送付。コミュニケーションを何度か取りながら内容を回答に反映させています。

今回、コミュニケーションを取ることができたのは、シャープ、パナソニック、日立アプライアンス、三菱電機、日本マクドナルド。その他は、回答がなかったため公開情報をもとに調べたものを最終調査結果としました。調査票及び結果はネットワークのウェブサイトからダウンロードできるのでぜひご覧ください。　（https://bit.ly/2U8pakX）

レイティングは七つの項目ごとに行い、各項目が 100 点満点になるように換算しています。各項目の重み付けは消費者や投資家、就職希望者、取引先など、各人の価値観を大切にするため総合レイティングは行っていません。

●通信簿の向こう側に意識を

各調査項目の担当者から以下のようなポイントをあげながら概要説明が行われました。

- 家電の SDGs の取り組みが進んでいる
- 日本マクドナルドとパナソニックが ESD（持続可能な開発教育）に取り組んでいる
- 家電は概ね気候変動防止に取り組んでいるが、外食チェーンは省エネ以外ほとんど取り組みが見られない
- ソニーは鉱山開発による生物多様性破壊を考慮し、新規材料の利用量ゼロの目標を掲げていた
- 外食チェーンで添加物、トランス脂肪酸、環境ホルモン、遺伝子組み替えの取り組みはほとんど見られなかった
- 消費者の利益についての位置付けが、企業理念に属するか顧客方針に属するかの位置付けが分かれた
- サプライヤーに人権尊重しているのは家電 5 社と日本マクドナルドだった
- パナソニックと日立アプライアンスは自社、サプラ

対象は家電と外食調べてわかった！企業のエシカル取り組み度合い

イヤーともに児童労働・強制労働の禁止、労働者の権利保障に取り組んでいた
・非正規雇用者を正規雇用する仕組みは３社で確認できたが、実績を公表している企業はゼロだった
・紛争地域における資源調達について家電５社は調達方針があったが、外食チェーンはなかった
・外食チェーンでアニマルウェルフェアのポリシーがあったのは日本マクドナルドのみだった

その後、中原 秀樹さん（東京都市大学名誉教授、日本エシカル推進協議会会長）、関 正雄さん（明治大学経営学部特任准教授、損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR 室シニア・アドバイザー）から識者コメントがありました。

まず中原さんからは「エシカル通信簿は消費者が行う身体検査。リアルな情報、気づきがあった」と述べた上で「持続可能な調達について、欧米企業はできているのに日本企業の多くは、２から３次までの調達先はわかるがその先は分からないという結果だった。アニマルウェルフェアについては、2020 年に向けて何をレガシーにするかが課題。トリガーが必要だ。それが『2020』かもしれない。家電はアニマルウェルフェアとの関係性が薄いと思われるかもしれないが最近はメディカル事業も行なっている。この中で動物実験の可能性もあるのでウォッチしなくてはいけないだろう」など、各項目の課題が指摘されました。

関さんはご自身が企業人でもあることを述べた上で「通信簿方式はいいと思う。問題は評価が低かったところをどう改善するか。評価する側の理由が示されると使い勝手がいい。CSR ランキングはいろんなところがやっているが、評価理由を教えてくれないところがある。評価の中身を開示しフィードバックをして、改善につながっていけば有効な仕組みとなる。企業はまちがいなく、消費者の厳しい目によって鍛えられる。これが SDGs の力にもなる」と通信簿の意義を語りました。また今後の課題として「評価した後、改善したかどうかも見てほしい。改善したら褒めるフォローアップも」と指摘されました。

両識者はスウェーデンで気候変動への行動を求め、学校のストライキをはじめたグレタ・トゥーンベリさんに触れ、中原さんは「グレタの活動に呼応して、世界中の多くの子どもたちが動きはじめている。これに大人はどう答えるのか。私たちは通信簿の向こう側に向けて動かなくてはいけないだろう」、関さんは「企業も消費者市民を育てること、消費者を巻きこんでいくことが大事。評価の視点にしてはどうか」と述べました。

●若者向けに情報発信を

最後に質疑応答が行われ、調査を担当した NGO 側が答えました。まず、家電に比べ外食の取り組みが低い傾向にある理由について質問がありました。これに対しては「今回調査対象となった外食チェーンの多くは海外の NGO などの批判にあまりさらされたことがなく、消費者が求めることへの意識が低いのではないか。外食チェーンは日本マクドナルド以外回答がなかったことから情報が分からず低い結果になったのではないか」といった発言がなされました。ただ、「今年度の調査対象が、偶然、家電と外食チェーンになっただけなので、業界間より業界内、もしくは各社の取り組み結果に注目していただきたい」といった指摘もありました。

また、大学生からは、ツイッターやスマホ、テレビなどを情報源とする若者に向けて、もっと情報発信をしてはどうか、業界団体にもアプローチをしてはどうか、など今後の活動の展開のヒントとなるような意見もありました。

エシカル通信簿は、消費者が行う企業の身体検査であり、企業に対する提案書でもありますが、グレタさんのような若者の将来を守るための約束、とも言えるかもしれません。企業、そして私たち消費者に求められる行動はまだまだ続きます。引き続き、エシカル通信簿への関心とご支援をお願いいたします。
※調査項目の調査結果の詳細は後日ニュースレターに掲載します。



ネットワークのメンバーで記念撮影

寄稿 いま、生物多様性条約で何が話し合われているのか？

バイオダイバーシティ・インフォメーション・ボックス 代表理事
原野 スキマサ

みなさんは「生物多様性条約」という条約をご存じでしょうか。
1992 年にブラジル・リオデジャネイロで開催された「地球サミット（国連環境開発会議）」で、２つの包括的な環境条約が誕生しました。それが「気候変動枠組条約（UNFCCC）」と「生物多様性条約（CBD）」で、この２つは“双子の条約”と呼ばれています。
生物多様性条約の締約国会議は２年に１度開催されていますが、昨年 2018 年 11 月にエジプトのシャルム・エル・シェイクで 14 回目の締約国会議（CBD-COP14）が開催されました。
筆者はこの会議に直接参加していませんが、参加した NGO メンバーの報告や、筆者の所属する NGO が主催した環境省・農林水産省との意見交換会をもとに、いま、CBD で議論されている話題を解説します。

●CBD-COP14 の主要議題

CBD-COP14 では、38 の議題が、また、同時に開催された、第 9 回カルタヘナ議定書締約国会合（CP-MOP9）と第 3 回名古屋議定書締約国会合（NP-MOP3）では、それぞれ 16 の議題が採択されています。

●第 2 次産業での生物多様性の主流化

生物多様性を守るためには、生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性が、国・自治体だけでなく、企業や市民などあらゆるステークホルダーに認識され、施策や事業・行動に反映されることが不可欠です。これが「生物多様性の主流化」です。

CBD-COP13（メキシコ・カンクン）では、農林水産業や観光業における生物多様性の主流化がテーマになりましたが、CBD-COP14 では、エネルギー分野、鉱業、インフラ、製造業・加工業における生物多様性の主流化が議論されました。

その結果、生物多様性戦略計画 2011-2020 や、国連の定める「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成のためには、第 2 次産業分野での生物多様性の主流化が不可欠であることが確認され、締約国に対して、生物多様性の主流化に関する措置を行うことが奨励されました。

●気候変動と生物多様性

生態系を活用した気候変動への適応策や防災・減災対策を効果的に実施するためのガイドラインが検討・採択されました。

また、各国の気候変動適応計画などにおいて、生物多様性に関する事項を統合することが決まりました。

●保護地域外での生物多様性の保全手段（OECM）

生態系を保全する場所というと、国立公園や鳥獣保護区などの「保護地域」をイメージしますが、自然保護が第一の目的ではなくても、実態として“自然保護に機能している場所”も存在します。

たとえば、民間が管理している自然公園や、生物多様性に配慮している水田なども、この OECM に含まれます。CBD-COP14 では、OECM の定義や、OECM のデータを世界保護地域データベースに記載することなどが決まりました。

●デジタル化された塩基配列情報（DSI）への取り扱い

DSI（Digital Sequence Information on Genetic Resources）は、「遺伝資源に関するデジタル配列情報」と訳されます。

名古屋議定書は、遺伝資源へのアクセスとその利益配分が規定されていて、遺伝資源へのアクセスや利用に関しては、提供国との事前の契約が必要です。

現在、CBD では、この名古屋議定書の対象に、DSI を含めるのかどうかが議論されています。遺伝資源提供国（おもに途上国）が DSI も名古屋

議定書の管理下に置くべきであると主張するのに対し、バイオ産業などの発展のためには DSI はオープンにすべきであると主張する締約国もあり、このテーマについては今後も継続して検討されることになりました。

●ポスト 2020 目標の検討プロセス

2010 年に名古屋で開催された CBD-COP10 で、「生物多様性戦略計画 2011-2020」が採択されました。この戦略計画で、条約加盟国が「2020 年までに、生物多様性の損失を止めるための行動を取る」ための 20 の目標が示されています。それが「愛知ターゲット（愛知目標）」です。

たとえば、「反復性」に関しては、「何度も意見を往復させる必要がある」ということ。政府の施策に対して、たった 1 回だけのパブリックコメントでお茶を濁すような意思決定のプロセスは、当然のことながらこの原則に反することになります。

こうした新しい視点に立ったポスト 2020 目標には多くの期待が寄せられている一方、強い強制力を伴う目標にできない場合には、目標実現が困難になるのではないかという懸念もあります。

●合成生物学などバイオ新技術の取り扱い

CBD では「バイオテクノロジーによって改変された生物」として、遺伝子組み換え作物などをこの条約の対象であると規定し、カルタヘナ議定書や名古屋・クアラルンプール補足議定書などで、細かく規定を定めています。

しかし、CBD が採択された 1990 年代前半には実用化されていなかった、新しいバイオ技術が次々に登場しています。これらの新技術によって生み出されたものを、CBD の対象とすべきなのか（つまり、その取り扱い方や規制について CBD で議論すべきかどうか）が検討されました。

ゲノム編集：遺伝子組み換え技術の 1 つで、CRISPR/Cas9 などの酵素を利用して、対象となる生物のゲノム（遺伝子）を変革する技術。中国の研究者が、ヒトの受精卵にゲノム編集を行い、HIV に感染しない双子を誕生させたことが話題になりました。現在、日本でも、筋肉の多いマダイや発芽毒のないジャガイモなど、さまざまなゲノム編集の研究が行われています。

遺伝子ドライブ：特定の遺伝子が偏って遺伝する現象を「遺伝子ドライブ」と呼びますが、近年、ゲノム編集などによって人為的に遺伝子ドライブを可能にした改変生物が創り出されています。たとえば、マラリアなどの媒介者である蚊にゲノム編集を施すとオスしか生まれなくなり、7〜8 世代後には生体群が絶滅するという研究も行われています。

合成生物学：合成生物学とは、DNA やタンパク質などの生体構造物質を、目的に応じて人工的に改変したり、合成する技術のことです。遺伝子組み換え技術は、すでに存在している生物の遺伝子を切り取ったり、別の生物の遺伝子を組みこんだりする技術です。しかし、合成生物学ではゼロから DNA やタンパク質などを造りあげるものです。

CBD-COP14 では、これらの新技術を CBD の対象とするのかどうか、結論は出ませんでした。しかし、こうしたバイオ新技術について議論することができるのも、この条約の特徴といえるでしょう。

環境省が行った調査では、「生物多様性」に関する認知度は、名古屋で CBD-COP10 が開催された 2010 年に比べて 10 ポイント近く低下しています。日本では「生物多様性の主流化」は、ほど遠いのかもしれません。

まずは、わたしたち市民の一人ひとりが、「生物多様性」を意識しながら生活することが大切なのではないでしょうか。

愛知ターゲットについて詳しくは下記サイトをご参照ください。

国際自然保護連合日本委員会
「にじゅうまるプロジェクト」
http://bd20.jp/know-aichi-target/

理事リレー
コラム

第４回　理事　片山　雅男
“なりわい”としての里山林の活用



環境市民の理事がリレー形式で、それぞれの専門分野や活動紹介、環境市民への思いなどを自由に語っていきます。

われわれは里山に何を求めるか

かつて、われわれは、里山にさまざまな生活資材を求めていた。山菜や木の実､キノコなどの食材や桧や杉、茅などの建築資材、薪・柴・炭などの燃料を里山から得ていた。昭和 30 年代の高度経済成長に伴って人々の生活スタイルが変化して、里山の利用は激減し、放棄された里山には次々に問題が生じた。遷移が進んで、アカマツ林やコナラ林はシイなどの常緑樹の森に変わっていった。さらに、大径木化したアカマツはマツクイムシの被害を受け、ミズナラやコナラなどの大径木もナラ枯れで被害が生じている。

また、地方からの人口流出は著しく、中でも、交通の不便な中山間地域では人口流失や高齢化が進み、存亡の危機に立たされた限界集落も多く、里山林も崩壊の危機に直面している。一方、今までの里山活動を振り返ると、自然観察会や自然保全活動、里山の復元と維持管理の取り組みなどがあるが、その多くは癒しや余暇の充実を求めるボランティア的な色合いが濃い。これらは担い手の熱意によって支えられているため、熱意が低下すると必然的にその活動は衰退していった。

中山間地域における里山の現状

2011 年から 3 年間、林野庁の森林総合利用推進事業の里山林整備指針策定のプロジェクトで、“なりわい”としての里山林の利活用の取り組みが行われた。今回はモデル策定地域の一つである、山形県飯豊町中津川地区の里山の活用事例を紹介する。この地区は米沢市の西に広がる中山間地域で、積雪４ｍを超す豪雪地帯である。明治になって、入会地が共有林として残され、昭和 33 年に飯豊町合併に伴い総面積 11,368ha の日本最大の財産区有林となった。そのうち 6,773ha（59%）が天然林で、その半分以上がミズナラとブナの広葉樹林である。大正 15 年の燃料林制度で貸付林制度が制定され、萌芽更新による循環的利用が行われていた。

昭和 30 年代前半は山林を利用する産業の最盛期で、人口も 3,500 名程あったが、平成 17 年には 157 戸、439 人に減少し、現在では過疎・高齢化が進み、350 名ほどになった。一方、広大な財産区有林では、手入れ不足によって落葉広葉樹が大径木化し、ナラ枯れが急速に拡大している。被害木の利用価値が低下し、倒木の危険性が高まることや、森の再生能力の低下も危惧される。また、かつての伐採・整備の施業計画は消失しており、山の情報や経験知も受け継がれていないなどの問題がある。この状況下で、2009 年頃から、ナラ枯れ拡大エリアの皆伐が行われた。

中山間地域における木材資源としての里山の再生への取り組み

豊富な木質資源を活用して地域経済の再構築を図るため、木材・木質バイオマス活用計画が考えられた。一つは、中津川バイオマス株式会社を設立して広葉樹の木質ペレットを生産し、各家庭にペレットストーブを導入してエネルギー自給の向上が図られた。また、製造過程で出るブナやナラなどのオガ粉はキノコの栽培用菌床として高価で取引される。いずれも売れる物をつくるスタンスで需要の確立を目指している。また、伐採跡地に生育するワラビを利用した観光わらび園や冬季の雪を貯蔵した雪室で酒や米の貯蔵が行われている。

企業の CSR 活動での森づくりでは、キヤノンマーケティングジャパンが「未来の森づくり」と題して、ナラ枯れ伐採跡地にトチノキなどを植樹し、草刈り等の手入れを協働で行っている。この活動では企業の家族が民泊するため、住民との交流が図られ、定住促進や地域経済の活性化にも大きく貢献している。

この取り組みは日本一の面積を誇る財産区有林の豊富な木質資源を活用して産業を起し、雇用を創出して、過疎、高齢化に歯止めをかけるものであり、今までと違って、里山と人の関わり方を“人が生きていく”視点で捉え直すものである。

文 / 片山 雅男　神戸教育短期大学
（旧夙川学院短期大学）教授

ぐりちょばなし シェアサイクル



文 / 佐藤 ふみ香（環境市民ボランティア）

環境市民ボランティアの佐藤です。今回は最近私が気になっているもの、シェアサイクルについて取り上げます。主に固定の拠点で自転車の貸し出しや返却をするレンタサイクルに対し、シェアサイクルは複数ある駐輪場や公共スペースで借りたり返したりすることができます。中国や欧州をはじめとし、日本でもいくつかの都道府県で導入されています。

先日欧州を訪れたのですが、特にパリでは観光客や地元の方々によく利用されているようでした。パリの中心部には、お店やアパルトマン、観光地、オフィスなどが密集しています。狭い路地も多く、車よりも自転車の使用が便利ということも利用者が多い理由の一つのようです。

シェアサイクル利用時は、スマートフォンのアプリや駐輪場にある機械で登録を行い、前払いチャージをして利用する仕組みが主流のようです。事業者により異なりますが、料金は 30 分 100 円程度のものが多く、月単位や年単位のプランが設定されているものもあります。

エコな交通手段として注目される自転車。景色を楽しみつつ自由に移動できるところも魅力的です。自転車を便利に使える仕組みとして、街に合ったシェアサイクルやレンタサイクルが増えると良いですね。

ぐりちょ Green & Ethical Choices　https://guricho.net/

行事案内
JOIN US !

京都4/6(土) 欧州「社会課題xビジネス」サーキュラーエコノミー最前線！安居昭博トークイベント
Supported by 環境市民 & アイセック・ジャパン 大阪市立大学委員会

ドイツ在住のサスティナブル・ジャーナリスト・サーキュラーエコノミー研究家の安居昭博さんが京都で出張トークイベントを開催します！
欧州で注目されている「社会課題 × ユニークなビジネスモデル」を日本の事例に当てはめて、みんなでアイデアをシェアしましょう。
社会人も学生も大歓迎です。イベント後に簡単な交流会も予定しています。

日時：4 月 6 日（土）13：00〜15：00（12：30 開場）
13:00-14:30：安居昭博トーク、質問＆ディスカッション
14:30-15:00：交流タイム
15:00-16:30：懇親会（会場近くのカフェを予定しています）

会場：パタゴニア京都店（京都府京都市下京区四条通立売東町 23 番地）
募集人数：若干名（定員 30 人）　参加費用：1,500 円
参加方法：Peatix よりご応募ください。
Peatix: https://peatix.com/event/617441/view

環境市民の学生ボランティアを中心に立ち上がった「make the Good... ミライプロジェクト for youth」では安居さんのメッセージを動画で発信しようと準備しています。未来世代に伝えたい！動画編集できるよ！ など、できることを持ち寄って一緒に活動しませんか！ そんな人は事務局にご一報ください！

＜プロフィール＞
安居 昭博（やすい・あきひろ）



1988 年 12 月 12 日生まれ。東京都練馬区出身。ドイツ在住サスティナブル・ジャーナリスト、映像クリエイター、サーキュラーエコノミー研究家。ドイツのサスティナブル Web マガジン FUNKENZEIT の映像・写真撮影、英語・ドイツ語でのインタビュアーを担当。ベルリンの難民支援プロジェクト The Hutto Project に映像制作として参加。キール大学 Sustainability, Society and the Environmental Master's Program に在学中の 2016 年、ドイツ緑の党の財団 Heinrich-Böll-Stiftung の奨学生に日本人で唯一選抜される。2017 年にベルリンで手掛けた「賞味期限切れ・廃棄食品だけを販売するスタートアップ」SirPlus の公式プロモーション映像は世界中で視聴され話題となる。

環境市民出版物のご案内

春といえば行楽の季節。行楽といえば CO_2 排出もない、健康にもプラスになる「サイクリング」！
40 人のサイクリストが実際に道を走って調査した自転車ガイドの決定版。

10 年以上前、自転車のまちづくりをすすめるため、ヨーロッパの本格的なツーリングガイドを参考につくった「京都自転車マップ」がさらにパワーアップ！　難易度別に 16 コースを紹介。

名所旧跡、グルメ、カフェ、名物、温泉のほか、スポーツ自転車が借りられるレンタサイクル店のリストも掲載していますので、観光で京都に来られたときにもお使いいただけます。



ロングライドコース一覧
①かやぶきの里と京の尾根、②賀茂川源流と峠越え入門、③鯖街道と原生林、④琵琶湖疎水と南湖一周、⑤焼き物の里、信楽、⑥山城茶処めぐり、⑦当尾・笠置の古社寺と月ヶ瀬湖、⑧山背古道、⑨桂川・木津川サイクリングロード、⑩古社寺めぐりと七夕伝説、⑪淀川と京街道、⑫西国街道、⑬大原野の山社寺めぐり、⑭雲海と海の眺望　亀岡～北大阪、⑮騎馬の道　日吉～亀岡、⑯保津峡と棚田

A5サイズ、128ページ、西日本出版社、2018年4月17日発行、1,404円（税込み）
お求めは全国の書店、または環境市民事務局までご注目ください。

今月のありがとう

2月1日～2月28日

（新入会）　高橋 新一郎さん
（ご寄付）　原野 知子さん
（ニュースレターの発送など事務局のお手伝い）
久保 浩さん、すきかえしがみ

【訂正】先月号・郵送版の表紙、説明文にある「水の都ルツェルン」は「トゥーン」の、「フィアヴァルトシュテッター湖」は「トゥーン湖」の間違いでした。訂正してお詫び申し上げます。

編集後記▶
毎年恒例、超多忙な年度末。自治体政策評価オリンピックの自治体への結果報告や、企業のエシカル通信簿の発表会をはじめ、助成金の実績報告などでニュースレターの発行が遅れてしまいました。お詫び申し上げます。（か）

一緒にニュースレターを作ってくれるメンバーを募集しています！ご関心のある方は、環境市民事務局までご連絡ください。

●編集部…石崎 雄一郎、大西 康史、風岡 宗人、日下部 伸行、下司 智子
佐藤ふみ香、平山 秀昭、向井 弘美、山形 七日、吉田有里
（50 音順）

「会員になる」「寄付をする」も参加の一つです。

環境市民は、ボランティアと会員、寄付によって支えられています。

●**会員特典：** 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。行事などの参加費を割引させていただきます。環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。入会時には記念ポストカードを差し上げます。

●**会員種類：** 法人会員の他、個人会員（年会費 4000円、入会金 1000円）、シニア・学生会員（年会費 3000円）などの種類があります。詳しくは事務局まで。

●**入会申込：** 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容をご記入の上、ご入金ください。

●**ご寄付：** 住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上ご入金ください。環境市民への寄付は税制控除の対象となります。
【環境市民へのご寄付は税制上の特例措置が講じられ寄付控除預金算入の対象となります】
お振込先：郵便振替　口座番号　01020-7-76578　加入者名：環境市民

誰もが参加できる環境 NGO

環境市民
Citizens Environmental Foundation

TEL 075-211-3521　FAX 075-211-3531
mail life@kankyoshimin.org
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下る第二ふや町ビル 206
【平日午前 10:00 から午後 6:00】
http://kankyoshimin.org/
Twitter アカウント：@kankyoshimin
facebook　http://www.facebook.com/kankyohsimin



（発行）特定非営利活動法人 環境市民　（代表・発行人）枚本 育生
本誌の無断複写・複製・転載を禁じます。